(11) Publication number: Japanese Examined Utility Model Application, Second

Publication No. Hei 01-31063

(54) Title: HANDLE FOR BAG

(72) Inventor: TANAKA, Takashi

the elastic fixing finger 7.

ABSTRACT

PURPOSE: To provide a handle for a bag which prevents a handle shaft from coming

out.

CONSTITUTION: A handle for a bag includes a handle body 1, a fixing element 2, reinforcing frames 5, and handle shafts 3. The fixing element 2 has two concave portions 2a into which ends of the handle body 1 are fitted. The reinforcing frames 5, each of which has an elastic fixing finger 7, are fitted on the outside surface of each of the concave portions 2a. The handle shaft 3 is reliably prevented from coming out by

⑫実用新案公報(Y2)

平1-31063

@Int. Cl. 4

13代理人

識別記号

庁内整理番号

2000公告 平成 1 年(1989) 9 月22日

A 45 C 13/26

C-8508-3B

(全2頁)

図考案の名称 かばん用下げ手

> 顧 昭61-21575 ② 実

69公 開 昭62-134418

22出 願 昭61(1986)2月19日 ❷昭62(1987) 8月24日

ф @考案者 Ħ

東京都北区西ケ原1丁目51番6号

株式会社日乃本錠前 勿出 顯 人

> 弁理士 中川 邦雄

審 杳 官 黒瀬 雅 — 東京都北区西ケ原1丁目19番19号

1

砂実用新案登録請求の範囲

下げ手本体を固定するための固定部材と、該固 定部材を固着し、かばん直接取付ける金属製の補 強枠とから構成され、固定部材は合成樹脂により 嵌まる凹形部を設け、凹形部には下げ手本体の両 端部の貫通孔と共に軸杆が貫通する一対の孔を開 設すると共に、凹形部の外面に嵌まる前記補強枠 にも凹形部の孔と合致する軸杆挿通用の一対の孔 平行に形成することにより両切込間に軸杆に係止 する固定弾片を設けたかばん用下げ手。

考案の詳細な説明

〔従来の技術〕

造であつて、固定部材 a を直接かばんに固定する ようになつている。この固定部材aは金属製で軸 杆bを固定部材aの一端から下げ手本体cに挿し てその先を固定部材αに圧入して固定している。 (考案が解決しようとする問題点)

しかし乍ら上記のものは固定部材αの穴dと軸 杆bの精度を必要とする。即ち、軸杆bが太いと 穴dに圧入できず、細ければ抜けるおそれがあり 製作上手数を要し、原価高となる。

(間顕点を解決するための手段)

本考案の目的は前記従来の問題点を解決し軸杆 の脱落を防止すると共に固定部材の変形もなく安 価で確実にかばんに固着できる下げ手を提供する ことにある。

2

そのため本考案は固定部材を直接かばんに固定 する構造を改め、該固定部材を合成樹脂により同 一肉厚に、しかも中空に形成して、かばんに固定 する金属製の補強枠で前記固定部材を軸杆と共に 中空で同一肉厚に形成して下げ手本体の両端部が 5 固着し、補強枠に形成した弾片で軸杆を係止させ るようにしたものである。

〔実施例〕

第1図乃至第3図は本考案に係るかばん用下げ 手の具体例を示したもので、図中1は下げ手本 を穿ち、かつ外側に位置する孔より2条の切込を 10 体、2は合成樹脂製の固定部材で下げ手本体1の 両端部 1 aが嵌まる凹形部 2 aを形成し、全体を 同一肉厚で中空状に形成してある。凹形部2aに は下げ手本体 1 の両端部 1 a に設けた貫通孔 1 b と共に軸杆3がそれぞれ挿通する孔4a, 4bを 従来のかばん用下げ手は第4図に示すような構 15 開設し、また凹形部2aの外面に嵌め込む金属製 の補強枠5を備え、(第3図参照)この補強枠5 はかばんに直接固定し、かつ前記孔4a, 4bと 合致する孔5a,5bを設けてある。そして外側 に位置する孔5bには下方に向つて一対の垂直の 20 切込 6 a, 6 b を平行に施すことにより両切込 6 a, 6 b間に軸杆固定弾片 7 を派生してある。従 つて第2図に示すように、固定部材2の凹形部2 aを囲む内周面8に形成した挿通孔9から挿込ん だ軸杆3が補強枠5の孔5a、凹形部の孔4a、 25 下げ手本体の両端部 1 a の挿通孔 1 b 及び凹形部 2aの孔4bより補強枠5の孔5bを貫通した際 固定弾片7が外側に稍々変形して係止し、軸杆3 が抜け出るのを阻止してある。

[考案の効果]

本考案によれば固定部材は合成樹脂により中空 でしかも同一肉厚に成形してあるため、製作時の 変形がなく体裁良く形成できる。そしてこの固定 部材は金属製の補強枠を介してかばんに固定し、 軸杆は補強枠の固定弾片によつて確実に固着され 5 貫通孔、2……固定部材、2 a……凹形部、3… 脱落するおそれはない。

図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るかばん用下げ手の一実施

例を示す平面図、第2図は縦断面図、第3図は本 考案の下げ手に用いる補強枠の斜視図、第4図は 従来の下げ手の一部の断面図である。

1 ······下げ手本体、1 a ······両端部、1 b ······ …軸杆、4 a, 4 b……孔、5……補強枠、5 a, 5 b ·······孔、8 a, 8 b ·······切込、7 ······固 定弹片。

第1図

